

勿来二小 ユニバーサルデザイン

R 1. 6. 17

視覚化

①板書・掲示

- ・わかりやすい表示（絵や写真）
- ・板書 文字の大きさ
- ・児童のノートを意識
- ・マス目黒板の利用
- ・文字を必要最低限にする
- ・大事なポイント 色をつける
- ・チョークの色分け
- ・ノート作りのきまり
- ・プリントの拡大
児童に配布したものと同一もの
- ・掲示板 児童の見える高さ
- ・見本となる型や書式を用意
- ・声のものさし
- ・既習事項の掲示
- ・階段の段差に掲示
- ・踊り場に学習コーナー

②写真・映像・図

- ・資料の拡大
- ・モニターによる提示
- ・図や絵を取り入れて表示
- ・デジタル教科書の活用
- ・算数科
半具体物を用いた作業
- ・体育
録画・動画
技の確認
ポイントを押さえる
- ・理科
顕微鏡の使い方を手元に表示
全員が体験

③手順

- ・物事の順番を示した板書
- ・手順表を提示
- ・学習の流れを決めておく。
- ・指示の内容(短い言葉で)
- ・短指示（1つの指示→1動作）
- ・朝の用意の手順を示したカードの提示
- ・絵や写真で掲示

④物の配置

- ・置き場所を決める
- ・何を入れたり置いたりするのか示す(棚、箱、かご)
- ・下駄箱（靴の入れ方の表示）
- ・ロッカーの使い方
(写真で表示)
- ・トイレのサンダルをそろえるため(床に足型)

指導

① ヒントカード

- ・ ヒントカード (式⇔図)
- ・ 考えの発表→リレー方式
- ・ 読み取り (穴埋め)
- ・ 選択肢を示す。
- ・ 言葉の宝物の活用 (作文等)

② 動作化・リズム

- ・ 数の仕組み (動作化)
- ・ 読み上げたり、暗唱したりする時、太鼓などでリズムを取る。

③ 評価

- ・ がんばりカード (個別のカードの作成
励みになるように工夫)

環境

① 刺激の軽減

- ・ 音が出ないように工夫。
- ・ 黒板に余計な物を貼らない。
- ・ 話をするとき、前に集合させる

② 時間の構造化

- ・ 計時を提示 (タイムタイマー)
- ・ 一時間の流れを提示→やること
- ・ 日程を知らせる→見通し

③ 学習形態の工夫

個磨き

国語

- ・ グループで話し合い、みんなの意見をまとめる→グループ全体の意見として発表

体育

- ・ 目標を示す (標準・上・最上)
- ・ 跳び箱での場の設定 (レベル別・コース別)
- ・ 陸上(跳)
幅跳び 3歩→5歩→7歩
助走から跳躍 (踏み切り板に合うように)

理科

- ・ 班内で記録班・実験班に分ける。それぞれを見合う
全員が体験

その他

- ・ スモールステップで学べる
- ・ 手指の動きをスムーズにするために (ぬりえ・なそりがき等)